

宮城県における施工体制事前提出方式の実施状況について

一般競争入札における履行能力確認調査の状況

- 平成18年度は、一般競争入札1,201件の31.3%にあたる376件で調査基準価格を下回る低入札となり、調査の結果、違算による採算割れ、配置技術者の不備、数値的判断基準等により最低価格入札者以外の業者を落札者としたものが145件179者あり、排除率が38.6%となった。
- 平成17年度と比較すると、低入札率は0.6ポイント高くなっており、落札者としなかった割合（排除率）は4.1ポイント高くなっている。

一般競争入札における低入札の状況

(単位：件、%)

区 分	調査対象 発注件数	履行能力確認調査			
		低入札件数	低入札率	落札者としな かった件数	排除率
H16年度	1,359	417	30.7	21件 24者	5.0
オープンブック	934	270	28.9	16件 19者	5.9
通常型	425	147	34.6	5件 5者	3.4
H17年度	1,369	420	30.7	145件 191者	34.5
オープンブック	1,320	414	31.4	144件 189者	34.8
通常型	49	6	12.2	1件 2者	16.7
H18年度 (全てオープンブック)	1,201	376	31.3	145件 179者	38.6

※データは全県ベース

※オープンブック方式の適用範囲

H15年度：3千万円以上の工事の一部に試行

H16年度：3千万円以上の全ての工事＋1千万円以上3千万円未満の工事の一部に試行

H17年度：1千万円以上の全ての工事

H18年度：一般競争入札により執行した全ての工事

平成18年度における落札者としなかった理由の内訳

(単位：者)

落札者としなかった理由	業者数	具体的理由の事例
事業所所在地不適合	1	
施工体制等不適合	1	
配置技術者条件不適合	2	
違算及び算出根拠不適切	4	<ul style="list-style-type: none"> 工事費内訳書に違算があり、採算割れ。 工事費内訳書の積算根拠資料が未提出。
総合評価技術資料不備	2	<ul style="list-style-type: none"> 総合評価技術資料の不備。 総合評価技術資料の真偽の確認審査において失格。
その他の条件不適合	2	<ul style="list-style-type: none"> 資格確認中に入札参加資格が無くなった(指名停止)。 特記仕様書で指定している工法が、履行困難。
数値的判断基準	167	
計	179	

(出典：宮城県HP)